

ハリーン通信 Vol.6



兵庫県北播磨県民局県民室環境課

環境にやさしいドライブマナー エコドライブ!

エコカーにエコポイント、エコバッグ。最近、「エコ」という言葉をよく耳にしますが、みなさんは「エコドライブ」をご存じですか？

地球温暖化対策の中で、一番大きな課題がCO₂の排出量削減です。自動車から排出されるCO₂は、地球温暖化の主な原因であり、窒素酸化物や粒子状物質は大気汚染に大きな影響を与えています。

兵庫県では、アイドリングストップをはじめ、環境に配慮した運転方法、エコカーへの乗り換え、公共交通機関の利用促進など、環境にやさしい自動車利用の実践運動を「エコドライブ運動」と呼び、自動車を運転するすべての人に広める活動を展開しています。

今、地球温暖化や大気汚染を防止し、きれいな空気を守るためには、私たち一人ひとりの取り組みが必要です。地域特性から、車の利用率が高い北播磨。「1人に1台」というご家庭も多いのではないのでしょうか？

エコドライブは誰にでも簡単にできる、環境にやさしいドライブマナーです。今すぐできることから始めましょう！



エコカーでいこか〜! エコカースタンプラリー2009 in 加西

平成21年8月2日(日)

34台のハイブリッドカーが参加し、市内10箇所のチェックポイントを巡る中で、高低差のある市街地をいかに効率的に走行できるかを競いました。

エコドライブ10のすすめ

- ① **ふんわりアクセル「eスタート」**
やさしい発進を心がけましょう。安全運転にもつながります。
- ② **加減速の少ない運転**
車間距離は余裕をもって、交通状況に応じた安全な定速走行に努めましょう。
- ③ **早めのアクセルオフ**
停止位置が分かったら早めにアクセルから足を離して減速し、坂道を下る時にはエンジブレーキを利用しましょう。
- ④ **エアコンの使用を控えめに**
車内を冷やしすぎないようにしましょう。
- ⑤ **アイドリングストップ**
待ち合せや荷物の積み下ろしのための駐停車の際には、アイドリングをやめましょう。
- ⑥ **暖機運転は適切に**
エンジンをかけたらすぐ出発しましょう。走りながら暖めるウォームアップ走行で十分です。
- ⑦ **道路交通情報の活用**
渋滞を避ければ、時間と燃料の節約になります。
- ⑧ **タイヤの空気圧をこまめにチェック**
空気圧が適正値より不足すると、燃費が悪化します。
- ⑨ **不要な荷物は積まずに走行**
車の燃費は荷物の重さに敏感です。
- ⑩ **駐車場所に注意**
渋滞をまねくことから、違法駐車はやめましょう。余分な排出ガスを出させる原因となります。



北はりま絆プロジェクト事業

家族をめぐる事件の多発や地域社会におけるつながりの希薄化など、現代社会においては、人と人、地域と地域の“絆”が失われつつあります。

北播磨地域でも、都市部に比べると、3世代同居など従来の家族スタイルが比較的残されているものの、核家族や1人暮らし高齢者が増加し、家族の会話時間も減少傾向にあります。

こうした状況を踏まえ、北播磨県民局では、「家族の絆」、「生活(暮らし)の絆」、「地域の絆」の3つの絆を深め、人と人、地域と地域の“絆”に支えられた、元気で安全・安心な北播磨づくりをめざす「北はりま絆プロジェクト事業」を推進しています。

特に『絆を深める月間』の11月には、主要事業を集中的に実施し、北播磨地域全体で絆を深めることの大切さをアピールします。



◇ 『絆を深める月間』(11月) 主要事業(予定) ◇

区分	内容	開催日・場所
家族の絆を深める	家族の絆シンポジウム 家族をテーマとした講演会や実践活動報告のほか、北はりま絆プロジェクトのシンボルマークや「家族川柳コンテスト」の優秀作品の表彰を行います。	11月8日(日) ベルディーホール (多可町)
	親子ふれあいウォーキング 北播磨の自然や文化にふれあいながら、親子でウォーキングや糸のこぎりを使ったものづくり体験などを楽しみます。	11月3日(火・祝) 長明寺の西国巡りを訪ねて (西脇市)
	まちの子育てひろば世話役交流会 人形劇や親子劇など多彩な活動を展開しているひろば関係者が集まり、子育て中の親子と情報の共有や意見交換などを行います。	11月20日(金) 社総合庁舎 (加東市)

暮らしの絆を深める	北はりま絆フェスティバル 北播磨じばさん元気市(北播磨の特産品や観光資源等のPR・展示販売)とあわせて、エコフェスティバル(環境クイズや地球温暖化防止パネル展示)、健康フェスティバル(健康教室やパネル展示)を開催します。	11月14日(土)、15日(日) 兵庫県立フラワーセンター(加西市)
地域の絆を深める	スポーツクラブ21 びょうご北播磨地区交流フェスティバル大会 世代を越えて楽しめるニュースポーツの大会。種目は、グランドゴルフ、クロリティー(スポーツ輪投げ)、スナッグゴルフ、アジャタ(玉入れ)などです。	11月7日(土) 三木市吉川総合公園(三木市)
	県民交流広場代表者大会 地域でモデルとなるような活動を展開している広場を表彰するほか、講演や事例発表、地域間交流を行います。	11月22日(日) 嬉野台生涯教育センター(加東市)
	北播磨地区青少年健全育成関係機関・団体合同研修会 インターネット利用アドバイザーである山根 喜代浩氏の講演会や意見交換を通じて青少年を守る地域の絆を深めます。	11月28日(土) 伝統産業会館(小野市)

※問い合わせは、県民協働課(電話：0795-42-9350)まで

ごみ2割減量北はりま大作戦!

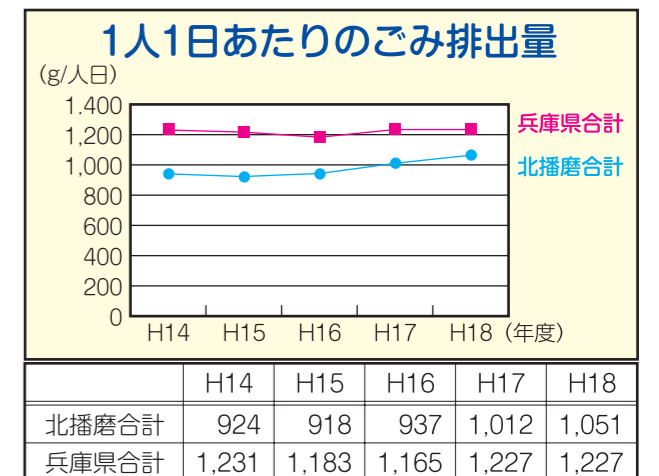
私たちが生活していく上で、ごみは必ず発生します。大量生産、大量消費の現代社会において、ごみは増加し処理料金や最終処分場などをめぐる問題が発生しています。

北播磨地域においても、平成18年度の1人1日あたりのごみ排出量(1,051g/人日)は、全県平均(1,227g/人日)を下回っているものの、平成16年度以降は増加傾向にあります。

また、平成18年度の県下41市町別の1人1日あたりのごみ排出量ランキングでは、3位から35位までの間にランクされ、市町間において大きな格差があります。

このため、北播磨県民局では、今年度から環境と調和した循環型社会の実現と美しい北播磨づくりをめざして、ごみの減量化やリサイクル、適正処理を推進する「ごみ2割減量北はりま大作戦」に取り組んでいます。

ごみ問題は私たちに身近である一方、解決が難しい問題です。みなさんも、分別・リサイクルを徹底し、レジ袋の辞退や詰め替え製品を使用するなど、“もったいない精神”で、ごみの減量化に努めましょう!



北はりま発! 環境レポート

地域で環境保全や自然保護などに取り組む団体の活動を紹介します!

おおばこの会 活動メモ

おおばこの会代表 山本 英夫

地球温暖化と関係があるのだろうか、異常とも思える現象と遭遇して不安を募らせることがよくある。今年の夏も長い梅雨があって、やっとそれが明けたと思うと局地的な豪雨と水害がやってきた。日照時間の不足が農作物の高騰を招き、ミツバチが激減したというニュースもあった。

今、人類は健全な地球の復元に向けて、謙虚に自然と対峙せねばならない時である。それがささやかな行為であろうと、私たちも何か行動を起こさなくてはという焦燥感に見舞われる昨今である。

平成20年4月、私たちは北播磨市民活動支援センターの任意団体として、「おおばこの会」を誕生させた。「野に遊び、野に学ぶ。野を愛し、野の魅力を語り合う」ことを原点とし、次の4つを活動の柱に30名の会員で地域の自然保護に取り組んでいる。

①学習会・観察会

野山を訪ね、自然に触れる中で会員各自の資質向上を図る。

②自然学習の場・機会の提供

自主的な企画を進め、広く地域に向かって参加を促す。

③学校支援

学校の計画する環境学習等にサポーターとして参加する。

④ネットワークの拡大と地域への提言

関連する地域の他グループとの交流を通し、自然との共生を核にした地域づくりへの提言を行う。



発足してから1年半。手探り状態で不安ながらも続けてきた、これまでの主な活動を紹介します。



◇自然観察会◇

平成20年 5月17日 小野アルプス
7月16日 細谷川(西脇市住吉町)

平成21年 5月17日 小野アルプス

◇環境体験事業◇

平成20年11月10日 市場小学校3年
平成21年 1月31日 来住保育所
6月12日 小野東小学校3年
6月25日 市場小学校3年

◇展示発表◇

平成21年2月11日 「第4回 共生の広場」
(人と自然の博物館)

最後に、私たちの活動には、多くの方々からのご支援があった。特に、直接的なご指導・ご助言をいただいた、県立人と自然の博物館の小舘 誓治先生、三木自然愛好研究会の小倉 茂先生に感謝したい。



行動で示す環境啓発

多可町生活環境グループ ザ・ゴミゼロース

活動を始めて今年で16年目を迎えます。活動のきっかけは、生涯学習の一環として環境問題を学ぶ中で、町内のごみ事情を調査したところ、山間道路の不法投棄ごみの膨大さに驚き、何とかしなくてはとの思いで当時の講座生が中心となり、グループを結成しました。当時の会員数は22名でしたが、その後、家庭の事情や高齢化などで現在は13名で活動中です。

私たちは「できるときに、できることを、できる範囲で」をモットーに、ごみ拾いや花壇の手入れなど町をきれいにする活動や省資源、ごみ減量の推進にも取り組んでいます。県が進める「アドプトプログラム」(里親制度)の認定事業にも参加し、県道の一部区間をボランティアで請け負って、清掃美化も行っています。

特に、「目で見てわかる環境啓発」と題し、啓発活動に重点を置き、さまざまな手法でもって住民の関心を引くよう努めています。たとえば、時節に応じてお茶摘み姿や京都の大原女、赤穂義士やサンタクロースなどに扮し、街頭キャンペーンを展開し、機会あるごとに住民に訴えています。

これまでも、身近な題材をテーマにした「全国ごみ袋展」では、全国47都道府県204の自治体より591点の指定ごみ袋を集め展示しました。これは予想を超える反響をよび、中町(現、多可町中区)から全国へ問題提起の情報発信ができました。

また、今回で8回目を迎える「環境落語寄席」は、グループ最大の啓発イベントです。聴衆400人を前に噺家がごみ減量などの啓発を噺の中に盛り込むユニークな企画で、私たちと環境問題を共に考える唯一の機会でもあります。

今年は、11月11日(水)に開催します。



このように、さまざまな取り組みを通して現場からの声を地域全体に広め、「自然豊かな美しい我が町」を環境破壊から守り、後世につなぐことが私たちの使命と思っています。

しかしながら、地道な活動とは裏腹に不法行為は後を絶ちません。発足当時に比べれば粗大ごみはやや減少しましたが、空き缶や弁当の空箱、たばこの吸い殻などは一向に減る気配はありません。

地球温暖化など大きな問題を抱える今日、私たち1人ひとりが原点に立ちかえり、「意識から行動へ」の転換を図ることで、環境保全の機運をより一層高めることが何よりも大切ではないでしょうか。

平成21年度(前期) 北播磨県民局環境イベント報告



打ち水大作戦2009 in 北はりま



打ち水で冷んやり！(小野市大池総合公園前道路)

地球温暖化の進行が懸念されている今、クーラーを使わずに夏の暑さを乗り切る方法として、打ち水が見直されています。

8月23日(日)小野まつりの当日、多可町加美区奥荒田のわき水600ℓを使い、小野恋おどりの参加者や見学者300名により打ち水を行いました。

アスファルト上の温度は、実施前と比べてなんと8℃も下がり、打ち水の効果を体感することができました！

田んぼの学校

播磨農業高等学校では、今年度も「田んぼの学校」を開校しています。

第1回(6月19日(金))は、田植えやさつまいものつる挿し体験、第2回(7月18日(土))は、三木自然愛好研究会の小倉先生を講師に迎え、水田・水路にすむ生物の観察会を行いました。

両日とも天候に恵まれ、20名の参加者が動植物にふれあいながら農業体験を楽しみました。



☆今後の予定☆

- 第3回(9月19日(土))：県立人と自然の博物館の鈴木先生による植物の話と生き物観察会
- 第4回(10月21日(水))：収穫祭・修了式など

地球温暖化防止活動推進員の活動

県では、地域での地球温暖化防止対策を推進するため、熱意と識見を有する方を「兵庫県地球温暖化防止活動推進員」に委嘱し、普及啓発などの実践活動に取り組んでいただいています。

北播磨地域においても、19名の推進員が温暖化をはじめとする環境問題の改善に向けて、イベントへの出展や啓発活動、教材の開発などを行っています。

暮らしの中のエコチェック

6月の環境月間に、やるしショッピングセンターでエコチェックを実施。買い物袋を持参しているかなど日々の生活を振り返り、暮らしの中のムダを点検しました。



ふるしきの使い方に興味津々！
(三木市のアフタースクール)

子ども工作教室・環境化学実験

加西や三木、小野で「ソーラーオルゴール工作教室」や「おもしろ環境化学実験」をそれぞれの地域の推進員が主催しました。

エコグッズの普及

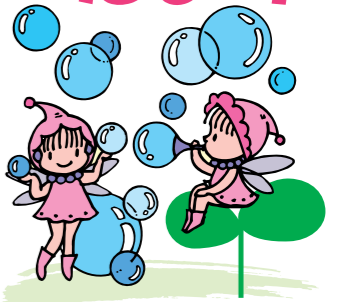
ふるしきの使い方やアクリルたわしの編み方を伝授。「アクリルたわしはなぜ環境に優しいのか」など、理科の問題と結びつけることで楽しく環境問題を考えました。

今年の推進員の活動は、始まったばかりです。これからも環境問題の改善に「私ができること」を追求して、さまざまな取り組みを展開していきます！



30人の小学生が環境化学実験に挑戦！
(三木吉川児童館)

地域環境学習コーディネーターだより



兵庫県では、平成19年度より保育所・幼稚園を対象に、幼児自らが動物や花木にふれあい、生命の大切さに身をもって気づく自然体験学習「ひょうごっこグリーンガーデン実践事業」を展開しています。

北播磨地域においても、平成21年度までに114園の保育所・幼稚園のうち、65園が「ひょうごっこグリーンガーデン実践園」として指定を受け、環境学習・教育に取り組んでいます。

実践に取り組んだ保育所・幼稚園では、「花や野菜の栽培活動」、「メダカの飼育や水辺の生き物観察」、「自然公園や身近な自然の中での遊び」を通して、幼児期から植物を育てる喜びと生命の不思議さを感じ、自然のすばらしさや資源を大切に思う気持ち、命の大切さに気づく力を育んでいます。

主な活動場所として、田畑や園庭、里山、地域の自然公園、水辺といった幅広いフィールドで取り組んでいます。

また、保護者や地域のボランティアグループにサポートを依頼するなど、地域を巻き込んだ取り組みも積極的に行っています。

昨年度実施した「平成19年度・20年度北播磨地域実施園」へのアンケート調査の結果、次のような成果があることがわかりました。



地域の小川で川遊び(比延保育園)

～栽培活動を通して～

- 子どもたちが植物の世話をすることで自然をより身近に感じ、自然に対して興味や関心を持つようになった。
- 友だちと協力して図鑑で調べたり、年長児が年少児に教えたりすることで、発見や感動を皆で共有できた。
- 子どもたちが栽培した野菜を家に持ち帰り、家族と共に味わうことで、家庭にも環境学習が広がった。
- 子どもたちが栽培した野菜を自ら調理し、食べることで好き嫌いがなくなり、食べ物を大切にするようになった。



お母さんと一緒に園児が育てた夏野菜を使ってクッキング(多可町立松井幼稚園)

～生き物観察を通して～

- 水辺で採集したメダカやザリガニなどを、子どもたちが飼育することで、育てる喜びや生命の不思議さ、命を大切に思う気持ちが生まれた。

～身近な自然の中での遊びを通して～

- 園周辺の散策を通し、地域の方と子どもたちの交流の機会が増えた。
- 子どもたちが身近な生き物、草花や木に興味を持つようになり、観察力がついた。



地域のボランティアグループと一緒にサツマイモのつる挿しを実施(西脇市立日野幼稚園)

保育所・幼稚園における、遊びや散歩といった園生活には、常に「環境」とのかかわりがあります。従来から行っている栽培活動や遠足などの行事も「環境学習・教育」の視点で見直し、日常的、継続的に取り組むことが大切です。

平成22年度以降は補助事業が見直されることとなりますが、今後も「環境」とのつながりを意識した保育所・幼稚園での取り組みが継続していくことを期待しています。

お知らせ

平成21年度(後期)環境イベント案内

ため池ふれあいイベント

日時：平成21年11月7日(土)
場所：加西市鶉野上町 西の段池



ベッコウトンボに象徴される多様な生き物が棲める自然環境を再生させるため、地域住民のみなさんと一緒に池干しやじゃことり、環境学習を実施します。

北播磨、東播磨、丹波地域から参加者を募集します。

みなさん、ぜひご参加ください！



加古川流域交流フォーラム

日時：平成21年12月5日(土)
場所：県立嬉野台生涯教育センター(加東市)

加古川流域の北播磨、東播磨、丹波地域で“豊かな森・川・海の保全・再生”に向けて環境活動・環境学習を実施している学校や活動団体が、日頃の活動や環境学習の成果を発表し、意見交換を行うことにより、取り組みの推進と流域間の交流を図ります。



太陽光発電の導入を支援します！



太陽光発電相談指導センターがオープン！

地球温暖化防止のための有効な対策のひとつとして、太陽光をはじめとする自然エネルギーの普及促進が期待されています。

太陽光発電は、気象条件などに左右されるものの、光熱費の半分程度をまかなうことが可能で、災害時にも発電できるなど、環境にやさしく経済的にも嬉しいシステムです。さらに、国では、太陽光の発電量から自家消費分を除いた余剰電力を、電力会社が従来の2倍程度で買い取る制度を本年度中に導入することとしています。

兵庫県内の太陽光発電の導入住宅は、平成20年度末で2万戸に達しました。今後、さらなる導入促進を図るため、平成21年7月30日に、ひょうごエコプラザに太陽光発電相談指導センターを開設し、各家庭への専門家の無料派遣や技術的な助言などの支援を行っています。



太陽光発電システム導入補助金制度

国は、一般住宅への太陽光発電システム(10KW未満)の設置に対して、補助を行っています。

*補助期間：平成21年4月1日(水)～平成22年1月29日(金)

*補助内容：太陽電池モジュールの公称最大出力1kWあたり7万円

*対象者：自ら居住する住宅に対象システムを新たに設置し、電灯契約をしている個人

◇太陽光発電や補助金申請についての詳細は、下記の太陽光発電相談指導センターへお問い合わせください！

太陽光発電相談指導センター

〒654-0044 神戸市中央区東川崎町1-1-3 神戸クリスタルタワー5階 ひょうごエコプラザ内

TEL：078-371-6000 FAX：078-371-7750 年中無休(年末年始12/29～1/3を除く) 9:30～17:30

編集・発行 平成21年9月30日

兵庫県北播磨県民局県民室環境課 中田 久美子
北播磨地域さわやかな環境づくり行動計画推進委員会

事務局

〒673-1431 兵庫県加東市社字西柿1075-2
TEL 0795-42-5111(内343) FAX 0795-42-7535
投稿・寄稿・ご意見等はこちらまでお願いします。
北播磨県民局ホームページ

http://web.pref.hyogo.jp/area/n_harima/index.html



北播磨環境マスコット

ハリーン

ハリーン通信Vol.6を読んでもくれてありがとう！

今年度からハリーン通信は年2回発行します☆次回は、平成22年3月発行予定です。ではまたVol.7で会おうね！

21北播P2-004A4